

エッセイ Essay



「教学相長」 中国語講師を務めて22年

豊橋市国際交流協会
中国語講師

劉 慶普(りゅう けいふ)

秋深し、木々に覆われている山々はすっかり紅葉に染められ、赤、茶、黄色…言葉で言い表せないほど美しく、まるで錦のようです。日増しに厳しくなる寒さの中、高速道路で車を走らせると、次々と絵画のような景色が目に入り、なんだか寒さを感じることなく、かえって体も心も温められているようで、脳裏にふと遠い昔(十代)に覚えた『紅葉』の歌が浮かんできました。そう言えば、このような景色をもう23回も見ました。それなのになぜか、今年ほど感銘を受けたことはありませんでした。

1992年(平成4年)に来日し、翌年から豊橋市国際交流協会の中国語講師を務め、もはや22年になります。初めの数年間は、中国語講座は年に2期、1期10回でしたが、その後、受講者の皆さんの要望に応じて、年に3期、1期10回の講座になり、現在に至っています。私は22年来の受講者の人数を統計したことはありませんが、記憶ではほとんど毎回「満員御礼」の状態、抽選で入る「盛況」もしばしばあったそうです。これは、どれだけ多くの方々が中国のこと、そして中国語に関心を持っているかを反映していると言えます。

市民向けの中国語講座は大学と違い、受講者の中には、中国語がペラペラの方もいれば、まったくゼロからの方もいます。仕事の関係で中国へ行く緊迫感を持っている方もいれば、生涯学習で中国語を楽しみたい方もいます。年齢もさまざま(小学生から80代まで)、公務員や会社員、大学生もいれば、主婦や夫婦、親子もいます。このような複雑な状況下の中国語講座は、私にとって初めてのことでしたので、どういうふうに教えたなら期待に応えられるのか、戸惑いも焦りもありました。しかし、実際に教え始めるようになったら、戸惑いや焦りの暇もなく、たちまち受

講者の皆さんの熱気の渦に巻き込まれ、彼らの旺盛な知識欲や中国に対して一向に変わらない関心は絶え間なく私に刺激を与えました。それ以来、「分かりやすく」、「楽しく」をモットーにし、受講者のどなたでも多かれ少なかれ得るものがあるように、絶えずよりよい教学方法や内容を模索し改善してきました。特にリピーターの方が半分以上占める今、同じ教科書でも、あきないように私自身も常に自らの知識を更新しています。そうしなければ、皆さんの追求心や学習意欲に追いつけないのです。私もいつも笑い声が絶えず、和気あいあいの雰囲気の中で受講者の方々とともに学び進歩してきました。私にとっては、これが大きな支えであり、この支えこそ、中国語講座を長く続けられた原動力です。

中国には「教学相長」(jiàoxuéxiāngzhǎng)(教える方も学ぶ方も共に向上していく)ということわざがあります。この20数年来、受講者の皆さんを教えてきたというよりもむしろ私のほうが彼らから多くのことを学んでいると言っていいでしょう。これからも「住めば都」の豊橋で引き続き微力でありながら、国際交流や中国語講座に力を尽くしたいと思います。

(※原稿は晩秋に執筆いただきました)



リピーターも多い人気の中国語講座